

第2学年国語科学習指導案

児童 2年3組 男子18名 女子12名 計30名
指導者 吉田 浩規

- 1 単元名 だいじなところに気をつけて読もう
教材名 「サンゴの海の生きものたち」(説明文)

2 児童と単元について

(1) 児童について

本学級児童は、一学期の説明文教材「たんぼぼのちえ」において、時間的な順序に気をつけながら、たんぼぼが働かせている知恵について様子とわけに分けて考え、まとめる学習を行ってきた。その中で、読みの視点をもって内容の大体を読みとること、主語や述語を意識しながら文の意味を考えようとする態度が育ってきている。しかし、文章のおおまかな構成を理解したり、問いかけの文やキーワードに着目して読み取ったりすることについては、十分に身に付いていない。

「たんぼぼのちえ」を学習した後の7月に実施された国語科意識調査では、「あなたは国語の学習が好きですか」「あなたは進んで国語の授業に参加していますか」の質問にはほとんどの児童が肯定的に答えている。このことから、国語の学習に対して意欲的に取り組もうとする傾向がみられる。

(2) 単元と教材について

本単元「だいじなところに気をつけて読もう」では、書かれている説明の順序に気を付けながら読むこと、問いかけの文から答えにあたる文章を正しく読み取れることをねらいとしている。

本教材「サンゴの海の生きものたち」は、サンゴのきれいな海の中で生き物の違いに応じた共生について順序立てて説明している文章であるので、生き物に強く関心をもっている児童にとっては、興味深く学習を進めることができる内容である。未知の海に住む生き物たちが、次々に登場してくることから、興味を高めながら読むこともできる教材である。

本教材は、1話題提示、2具体例、3具体例、4まとめ、という文章構成である。問いかけの文「どんな生きものたちが、どんなかかわり合いをしているのでしょうか。」により、読み進める目的がとらえやすくなっており、そこに着目しながら共生の関係を読み取っていくことができる。しかし、これまで読んできた説明文に比べ、登場する生き物の数が多く関係も入り組んでいるため、中心的な事柄を読み取れないでしまう児童がいることも予想される。また、興味をひく教材であるため、話し合いの際に自分の知識に基づく発表をする児童も予想され、読み取りという活動から離れてしまうことも考えられる。写真を手がかりにしながらも、文章から読み取っていく活動を中心に据えて進めたい。

さらに、「生きものふしぎはっけんブック」を作ることを目的にすることで、意欲的な読みにつなげ、内容の大体を読み取る力を付けるとともに、他の生き物にも興味をもち、楽しんで読書をしようとする態度を育てていくことができるのではないかと考える。

(3) 付けたい力と読みの方法【付けたい力】 読みの方法

【事柄の順序に気を付け、内容の大体をとらえる力】

主語と述語の関係に注意して読む。 問いと関連付けて説明を読む。
写真と文章とを照応して読む。
・ 問いの文 ・ キーワード

内容の大体をとらえるために、まず文章のおおまかな構成をつかませたい。内容から教材文を四つの大きなまとまりに分け、おおまかな文章構成をつかませることで内容の読み取りがしやすくなる。本教材で述べられている事柄は、問いかけの文から、「生き物の特徴」と「かかわり合い」の二点であることが分かる。この点を意識した学習活動を展開していくことで文章の大体を理解することができることを確認し、読み取りの観点を明確にしたい。

教材を読み深める段階では、書かれている事柄の順序に従い、「特徴」を読み取った後で、「かかわり合い」をまとめていく。具体的な読み取り場面においては、まず、それぞれの文が何について書かれたものかをつかませる必要がある。その際、文の主語を見つける活動を取り入れる。本教材文では、「イソギンチャクは」「クマノミは」など、主語を容易に見つけられる文もあるが、「細長いたくさんのしよく手をゆらゆらさせています」など、主語が明示されていない文も多い。したがって、指導にあたっては、前の文とのつながりや、述語から文の主語は何かを考えさせる必要がある。また、書かれている事柄について写真と照らし合わせる活動を取り入れることで、内容理解の助けとなるであろう。学習シートに、「特徴」や「かかわり合い」を分かりやすくまとめたり、読み取ったことをふまえて、ふき出しや見出しを書いたりする活動を通して、内容の大体をとらえることができるものとする。

さらに、教材文で学習した読みの方法を生かして読み取ることができるような補助教材を活用し、自力で読むことができたという達成感を味わわせたい。

3 単元の目標と評価規準

	単元の目標	評価規準
国語への 関心・意欲・態度	海の生き物についての読み物に興味をもち、かかわり合いを読み取ったり、他の本を読んだりしようとする。	・ 海の生き物どうしのかかわり合いについて書かれた読み物を興味をもって読もうとしている。
読む能力	海の生き物の特徴を読み取り、その特徴を生かして、互いに役に立っていることを事柄の順序を考えながら、読み取ることができる。 ＜読むこと イ＞	・ 事柄の順序を考えながら、内容の大体を読み取っている。
言語についての 知識・理解・技能	片仮名を正しく読んだり、書いたりし、片仮名で書く語を文や文章の中で使うことができる。 ＜言語事項 イ(ア)＞	・ 片仮名を正しく読んだり、書いたりし、片仮名で書く語を文や文章の中で使っている。

4 単元の指導計画と評価規準（11時間）

段階	時	学習活動	国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
見 通 す	1	題名についての話し合い やビデオ視聴を通して、 教材文を読むことに対する 意欲をもつ。	海の生きものについて 思ったことを進ん で発表しようとして いる。（観察・学習 シート）		
	2	教材文を通読後、初発の 感想を話し合う。新出漢 字や語句の意味を確認す る。	「サンゴの海の生き ものたち」を読み、 初めて知ったことや 不思議に思ったこと を書いたり発表した りしようとしている。 （観察・学習シ ート）	「サンゴの海の生き ものたち」を読み、 初めて知ったことや 不思議に思ったこと を書いている。（学 習シート）	新出漢字や片仮名を 正しく読んだり書い たりしている。 （学習シート）
	3	話題の提示と問いかけ、 まとめの文からおおまか な文章構成を知り、学習 への見通しをもち「生き ものふしぎはっけんブッ ク」の表紙作りをする。	内容に興味をもち、 進んで表紙作りをし ようとしている。 （観察・表紙カード）		
深 め る	4	イソギンチャクとクマノ ミの特徴を読み取り、「生 きものふしぎはっけんブ ック」にまとめる。		主語と述語の関係に 気を付けながら、そ れぞれの特徴を読み 取りまとめている。 （学習シート）	
	5	イソギンチャクとクマノ ミのかかわり合いを読み 取り、「生きものふしぎ はっけんブック」にまと める。		イソギンチャクとク マノミのかかわり合 いを読み取り、それ が分かるようにふき 出しに書いている。 （学習シート）	
	6	ホンソメワケベラと大き な魚たちとのかかわり合 いを読み取り、「生きも のふしぎはっけんブッ ク」にまとめる。		ホンソメワケベラと 大きな魚たちとのか かわり合いを読み取 り、それが分かるよ うにふき出しに書い ている。（観察・学 習シート）	
ま と め る	7	これまでの学習を振り返 り、学習したことを確か めたり、感想を書いたり する。	これまでの学習を振 り返り、進んで感想 を書こうとしている。 （観察・学習シ ート）	これまでの学習を振 り返り、感想を書い ている。（学習シ ート）	

	8 9 (本 時)	学習したことを生かし、サンゴの海の生き物について書かれた補助教材を読む。		補助教材を読み、生き物の特徴やかかわり合いをまとめている。 (学習シート)	
広 め る	10 11	生き物について書かれた本を読み、「生きものふしぎはっけんブック」にまとめ、完成させる。	生き物について書かれた本を進んで読み、分かったことを書こうとしている。 (観察・学習シート)		片仮名で書く語を文や文章の中で、正しく使っている。 (学習シート)

5 本時の指導 (9 / 1 1)

(1) 本時の目標

サンゴとサンゴガニのかかわり合いを読み取り、それぞれの生き物にとってのよいことを学習シートにまとめることができる。

(2) 本時の評価の観点と具体の評価規準

観点	具体的評価規準	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する児童への手だて
読む能力		お互いにとってよいことを読み取り、理由もつけて学習シートにまとめている。 例) <u>サンゴにとってよいこと</u> ・サンゴガニがヒトデを追い払ってくれるので、サンゴガニと一緒にいれば安全。 <u>サンゴガニにとってよいこと</u> ・サンゴにえさをもらえるし、サンゴに隠れていることで、安心してえさが食べられる。	お互いにとってよいことを読み取り、学習シートに書いている。 例) <u>サンゴにとってよいこと</u> ・サンゴガニといっしょにいれば安全。 <u>サンゴガニにとってよいこと</u> ・サンゴに隠れていることで、安心してえさが食べられる。	・書かれている事柄の順序に気付かせ、かかわり合いが書いてある文を見つけられるようにする。

(3) 展開

段階	学習活動 発問 ・期待する児童の反応	教師の関わり方 ・留意事項 評価
見 通 す	1 内容に関係のある写真を見て、補助教材への意欲をもつ。 2 本時の学習課題を確認する。	・補助教材に登場する生き物の写真を提示し読みの意欲を高める。 ・サンゴとサンゴガニという名前であることを紹介し、なぜ一緒にいるのかという視点を与えることで、課題につなげる。

<p>10分</p>	<p>サンゴとサンゴガニのかかわり合いを読みとろう。</p> <p>3 読みの視点を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>・とくちょう ・かかわりあい サンゴにとってよいこと サンゴガニにとってよいこと</p>	<p>・補助教材を配布し範読した後、視点を確認する。</p>
<p>深める</p> <p>32分</p>	<p>4 補助教材を音読する。</p> <p>5 それぞれの生き物の特徴を読み取る。 <サンゴの特徴> ・多くのえだがある。 ・えだは、ねばねばしたえきでおおわれている。 <サンゴガニの特徴> ・オレンジ色。 ・サンゴの枝についているえきを食べる。</p> <p>6 かかわり合いを読み取る。 (1) 一緒にいるとそれぞれの生き物にとってどんなよいことがあるのか、かかわり合いを学習シートにまとめる。</p> <p>(2) 一緒にいるとそれぞれの生き物にとってどんなよいことがあるのか、かかわり合いを確かめる。 <サンゴにとってよいこと> ・サンゴガニと一緒にいれば安全。 <サンゴガニにとってよいこと> ・サンゴに隠れていることで安心してえさを食べることができる。</p>	<p>・文のまとまりを意識させるために、段落に番号をつけさせる。 ・初めて目にする文章なので、内容理解のために、複数回読ませる。</p> <p>・教材文を読んだ時の方法を使って、特徴を探させた後、全体で確認し、学習シートにまとめさせる。</p> <p>・教材文を読み取った方法を確認できるように、まとめ方を掲示しておく。 ・進み具合を確認し、必要に応じて支援する。(全体での確認・机間指導・ヒントカード) ・かかわり合いを学習シートにまとめ終わったら、ふき出しや見出しを考えて書くことを確認する。 サンゴとサンゴガニのかかわり合いを読み取り、それぞれの生き物にとってよいことを学習シートにまとめることができたか。 (学習シート)</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・ふき出しや見出しを書いている児童がいたら紹介してもらい、サンゴとサンゴガニの共生関係をまとめる。
まとめ	7 本時の学習を振りかえる。 今日の学習で分かったことや初めて知ったことを発表しましょう。	
3分	8 次時の学習について確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習計画表をもとに確認する。

(4) 板書計画

